

地域の観光振興を狙うフォーラム開催

大学と地域の協働による観光活性化フォーラム
にいがた観光の新しい道を探る
 —国内外の観光客を呼び込む新しい取り組みと方策—



MANOISURU 真野鶴
 born from Sado, Niigata

転機①世界の舞台で金賞受賞

IWC (International Wine Challenge) London
 世界最大ワイン鑑評会日本酒部門で金賞受賞



燕三条ワシントンホテルに92名が来場した

大学と地域の協働による観光活性化モデル事業協議会は12月18日、三条市でフォーラムを開催した。
 同協議会は県央地域の自治体、三条地域振興局、燕三条地場産業振興センター、新潟

経営大学で構成される。事務局は同学内に置かれ、会長は同学学長の渡辺保氏が務める。フォーラムの開催は今年で2回目。講演会やパネルディスカッションなどから、地域観光の課題を探るのが狙い。今年の講師は尾畑酒造(佐渡市)の専務・尾畑留美子氏。同社は「真野鶴」などの銘柄

が発課長・松田千春氏が基調報告を行い、インバウンドの勢いなどについて語った。
 日本国内のインバウンドは年々増え続けており、16年は10月末、2千万人を突破。同日時点で年間最高記録を更新した。



「真野鶴」の5代目蔵元である尾畑留美子氏

「当社のグループ施設である「ガール湯沢」(スキー場)は、昨シーズンに比べて外国からの利用者が倍加した。タイやインドネシアなどから、全くスキーをしたことがないお客様が増えている」
 ただ本県へのインバウンドは、国内全体の0.3〜0.5%程度

でしかないという。逆に考えれば、まだまだ伸びしろがあるということか。フォーラムを主催した協議会の活動が、インバウンド需要を大きく取り込む手助けとなることを期待したい。



松田千春氏。新潟県や山形県、内地域の観光開発に尽力している



新潟経営大学・渡辺保学長。同学は16年度、県内初の観光学部を開設した

今年度の観光学部を開設した